

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四年三月度 入賞句一覧 投句数 千七百二十句



特選

遠藤 幹郎 選

やね見ればするどくどがった氷柱の刃 大垣市 梶本 菜月(小四)

観察と表現の効いた一句です。冬の寒い朝、作者は軒から水滴が凍って垂れ下がった氷柱(つらら)を見て、「するどくどがった氷柱の刃」と言い切ったのです。「するどく尖った刃物が軒下めがけて垂れ下がっているようだ」と感じとったのです。目に見えるように的確に表現できました。

妹といきをそろえておには外 大垣市 安井 柚葉(中一)

節分の日、妹といつしよにいきをそろえて、「鬼は外(福は内)」と大声で唱え、豆まきをしたのですね。「声をそろえて」ではなく「いきをそろえて」といったところに作者らしさが出ていて愉快です。家には、福がやってくるのをだれもが願って行う行事です。姉妹が仲良く明るい雰囲気伝わってきます。

花つんで白詰草のかんむりだ 大垣市 神谷 凜(小四)

春の野原で、白詰草(クローバー)を摘んで頭にのせるかんむりを作ったのですね。野原で白詰草をつんで、女王様気取りで、「どうこのかんむりよく似合うでしょう」とでも、まわりの子たちに誇らしげにしている様子が浮かんできます。春の日を浴びながら、かんむりづくりで戯れるのどかな楽しい一句ができました。

秀逸

桜咲きいつもと違う通学路 加茂郡川辺町 木下 瑛介(中二)

若草が太陽求めてのびをする 加茂郡川辺町 渡辺 かずは(中二)

雪がつせん小さい子にもようしやなし 大垣市 野原 柑南(小六)

粉雪やねむる木々たち着かざつて 大垣市 伊藤 百花(小六)

はこあけてひさしぶりだねおひなさま 大垣市 吉田 晴香(小四)

貯金箱重くなつてくお正月 大垣市 神谷 咲希(小六)

クローバー四つ葉の場所は秘密きち 大垣市 大和田 真瑚(中一)

さくらさくゆめがふくらむ三年だ 大垣市 ほり川 あんじゅ(小三)

新しい体育かんに春の風 大垣市 井上 しゅんたろう(小三)

ストーブのまわりのかおのまつつか 大垣市 よしうら あいか(小四)

入選

しば桜地をはうように咲いていく

加茂郡川辺町

馬場 貴大(中二)

見わたすと辺り一面沈丁花

加茂郡川辺町

樋口 翔太(中三)

ゆきだるまかわいいおかおつくるんだ

大垣市

いのうえ りこ(小三)

はるが来たたのしいはいくつくろうか

大垣市

こまつ けんご(小三)

ゆきだるまニンジンかっつてつくつたよ

大垣市

おかだ かんた(小三)

すきまかぜとびらしめてもなおらない

大垣市

みやもり かなた(小四)

大晦日家族みんなで年こしだ

大垣市

川瀬 結愛(小六)

屋根こわれ雪の重さを思い知る

大垣市

海野 結菜(小六)

豆まきを終ったあとは大そうじ

大垣市

清水 友莉(中一)

冬の空けん玉のつたようれしいな

大垣市

おおつか ゆりえ(小四)

はるかぜがはるをしらせにやってくる

大垣市

藤枝 桜河(小四)

こたつにはあしをいれるといっぱいだ

大垣市

大野 愛斗(小四)

南風ぼうしをとばすどこまでも

大垣市

杉野 蒼大(小六)

鍋料理いろいろな具ざい温まる

大垣市

高木 優志(小六)

マスクやけみんな同じで大笑い

大垣市

鹿野 由衣(小六)

きみのかたちよこんとすわるちようちよさん

大垣市

佐々木 みゆ(小三)

ひなまつりきょうのごはんごうかだよ

大垣市

ばん みくり(小三)

大雪で雪かきしたけどまたつもる

大垣市

日比野 透真(小五)

友達に思いをとどける年賀状

大垣市

佐竹 詠宇(小五)

おひな様私もそこにすわりたい

大垣市

長谷 光央里(小六)

選者吟

土管坂のぼれば知多の春の海

幹郎



小中学生の部